

元旦礼拝

「自由になる真理を知る」

ヨハネ 8:31-36

2019.1.1 HKJCF

1

概観

本当の真理を知り、罪の束縛から解放され、本当の自由を味わうために、成長のプロセスを歩ませてもらいたい。

アウトライン

1. 真理を知る V31-32
2. 罪を行う V33-34
3. 子が自由にする V35-36

2

1. 真理を知る V31-32

- 1) 信じたユダヤ人たち: 信仰がまだ表面的; 成長するように導く大切さ。
- 2) 本当の弟子: (μένω, menó) = 居残る、滞在する; 「共にいる」存在感。御言葉を介し、御霊によって力づけられる。
- 3) 真理を知る: 体験を通して知る; 聖書の知識ではなく、真理の御子(ヨハネ 14:6)。
- 4) 恵みとまこと: 信徒が結ぶ実(ヨハネ 1:14); 御霊に満たされている状態。

3

2. 罪を行う V33-34

- 1) アブラハムの子孫: 私たちの偶像は何? ユダヤ人は選民意識、純血など。
- 2) プライドによる盲目: エジプト→ローマまでの歴史を忘れている; 政治的⇔霊的な議論。
- 3) 罪を行う: 一つずつ謝罪しても無意味; 人間の全存在が堕落している; 心の内側の問題(マルコ 7:20-23)。
- 4) 罪の奴隷: 自分の力で解放する力がない; 自由は外側から与えられる。

4

3. 子が自由にする V35-36

- 1) 奴隷の立場: ずっと家にいられない; 立場も平安もない⇒常に不安な意識。
- 2) 息子はいつまでもいる: 神の御子は永遠から永遠まで父なる神と一緒におられる。
- 3) 子が私たちを自由にする: イエス様だけが私たちを解することができる。
- 4) 自由: 完全にイエス様に守られている意識; ①罪と②サタンからの妨げがあっても、束縛から完全に解放されている。

5

適用

- 1) キリストの言葉にとどまるように: 信じる→従う→共に歩む→とどまる。御言葉が生活の一部となり、正しい道に導く力となっている(ヨハネ 15:5)。
- 2) キリストに自由にされるように: 御言葉を通して、本当の真理(not the truth, but the Truth)に出会うように。

6